

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

■公述人1

公述意見の要旨	市の考え方
<p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業に係る都市計画道路3・4・3号環状4号線、3・3・9号国道16号線(八王子街道)他2路線の都市計画変更に関する都市計画公聴会への公述</p> <p>横浜市瀬谷区旭区にまたがる旧上瀬谷通信施設は、旧日本軍が使用しその後米軍に接收され、70年余を経てようやく市民に返還された土地です。地権者には長く苦しい年月ですし、瀬谷区の開発が遅れた一因とも言われているようです。</p> <p>しかし、皮肉にも「長年米軍に接收されていた」というそのおかげで(あえて「おかげ」と表現いたしません)、首都圏には希な広大な緑地湿地水源が、この横浜市に保全されているのです。</p> <p>瀬谷区で20年近く活動なさっている「瀬谷環境ネット」さんたちの観測からも、この地には希少生物の生息が確認されています(そういえば、2021年、横浜市は環境影響評価審査会の委員さんたちには、水田や川の源流などの豊かな自然は見せずに、荒れ地だけ見せたのでしたっけね)。</p> <p>昨今、政府民間をあげて喧伝している「SDGs(持続可能な17の開発目標)」の観点からも、この旧上瀬谷通信施設は、未来の子どもたちに引き継がせたい、横浜市だけのものではない、日本においても地球の緑地保全においても貴重な土地ではないかと認識しております。</p> <p>その上で、私は、今回の旧上瀬谷通信施設と周辺の新設及び変更の道路計画に不満があります。なぜなら、今回の道路計画は、「旧上瀬谷通信施設地区における土地利用転換に伴う交通需要に対応するため」と、「理由書」に書いてありますが、「市素案説明会」にて提出された資料によれば、「交通量予測」は2046年という20年以上先のものだそうです。そして、その未来でも道路の渋滞は現在とあまり変わらないからです。「道路が新設される」ということは、住民生活に資するものがあると期待するのが住民の素直な気持ちではないでしょうか。少なくとも私は、貴重な自然環境を有する旧上瀬谷通信施設の開発が行われ、道路が新設されるのであれば、瀬谷区旭区、横浜市民はその恩恵を受け渋滞は解消されるのではと考えます。</p> <p>しかし、この現在の道路計画では、現在でも渋滞が起きているこの地区と周辺地区の道路環境が、改善されないのです。しかも、2027年に、この旧上瀬谷通信施設で開催予定の花博の渋滞予測も、周辺道路としての中原街道の渋滞予測も行われておらず、道路計画には組み込まれていないのです。中原街道を日常使用する身としては、2022年ゴールデンウィークの、ズーラシア渋滞がひどいものだったことが記憶に新しいです。一般道が、5kmにわたって渋滞したのです。バスも来ず、周辺の白根通りなども混雑し、私の生活は脅かされました。横浜市の今回の道路計画では、通称花博およびその後予定されている「年間1500万人集客を見込むテーマパーク誘致」が行われた場合、日常的に中原街道にも大渋滞が起これるのではないかと危惧いたします。以上のように私はこの道路計画には不満であり、この道路計画は不備であり私の将来の生活に不安が生じると指摘し、横浜市に対して計画の改善を求めたく、公述を行います。この道路計画に関して、11月に行われた説明会にも出席しました。横浜市に対して質問書も送りました。しかし、「このままでは渋滞解消にはならないのではないか」「中原街道に関しても花博やその後のテーマパーク新設に関連する渋滞調査を行って欲しい」「自然を壊してまで、渋滞解消しない道路の建設はいかがなものか」「通称海軍道路桜並木は、未だ健全な桜を全伐採して4車線にしないで、歩道にする案を検討して欲しい」というようなことを、いかように市に問い合わせても、</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区では、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」との意見交換や市民意見募集等を踏まえて、まちづくりの方針や土地利用の考え方を「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(2020年3月策定)」として取りまとめ、これに基づいて、まちづくりを進めています。</p> <p>同計画では、土地利用として、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンを設定し、各ゾーンで、次世代に向けた土地利用を行うことや、国際園芸博覧会のレガシーを継承した公園の整備などにより、国内外から注目される、新たな活性化拠点の形成を目指しております。</p> <p>環境については、「旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 環境影響評価書」に基づき、工事の実施や工事後の土地の改変による生息環境への影響を低減させるため、環境保全措置を実施していきます。</p> <p>旧上瀬谷通信施設地区の土地利用の具体化に向けては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら検討を進めていきます。</p> <p>砲弾については、陸上自衛隊が現地では砲弾を確認した結果、爆発の危険性がないものであり、即日回収できるものであったことから、横浜市防災計画(都市災害対策編)に基づき、適切な対応を行い、公表しない判断としました。</p> <p>土壌汚染に対応する作業員の安全管理については、作業着やマスクによる暴露防止や、作業環境の測定など、労働安全衛生法に基づき、必要な措置を講じていきます。</p> <p>公聴会は、都市計画法第16条第1項に基づき開催するものであり、市が作成した都市計画の素案について住民が公開の下で意見陳述を行う場と考えられております。</p> <p>そのため、公聴会は専門家・担当者を前にして行い、公述に対して市の意見を述べる場ではございませんが、いただいたご意見については、「公聴会における公述意見の要旨と市の考え方」を、学識経験のある者、横浜市議員、横浜市の住民などで構成される都市計画審議会に提出いたします。</p> <p>今回の公聴会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための措置として、横浜市ホームページでの書面による意見の公開により、行うこととしております。</p> <p>説明会でいただいたご意見については関係部署と共有しております。</p> <p>なお、公聴会の実施方法については、今後も引き続き社会動向等を踏まえ、適切な手法を随時検討し、実施してまいります。</p> <p>いただいた1～7の質問については、以下のとおり、回答いたします。</p> <p>1 環状4号線(海軍道路)の桜並木については、毎年樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」を策定しました。今回、道路幅員18mから31mに拡幅する土地区画整理事業区域内(八王子街道付近～中瀬谷消防出張所)の環状4号線では、基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」において、拡幅後の歩道部に桜並木を再生することとしております。</p> <p>なお、環状4号線は市域の一体化を目的とした主要な幹線道路であり、緊急輸送路としての役割がある中で、土地区画整理事業施行区域内の北側と南側の起終点が既成市街地との関係で固定されている状況を踏まえ、両地点の車道を直線で結ぶ計画で拡幅を行うこととしています。</p>

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

<p>「花博の渋滞は国際園芸博覧会協会が適切にこのあと対処」 「環状4号線は緊急車両の通行を・・・」 等々、コピー&ペーストの、壊れた機械が同じ回答を繰り返すかのような回答しかいただけていません。残念です。</p> <p>中原街道だけではありません。このままの規模(予想来場者数1500万人、有料来場者数1000万人)で花博が行われてしまえば、相模原市・大和市・町田市など周辺自治体の道路も大渋滞の危険をはらんでいます。とても、新設上川井瀬谷1、2号線と16号線の一部改修だけでまかなえるものではありません。</p> <p>素人でも予想できる大渋滞に対処もできない上に 平和の祈りをこめて、戦後に植樹された通称海軍道路の未だ健全な桜並木を全伐採し、 相沢川を埋め暗渠化し切回しを行い、水辺生物の生息場所を破壊し、 未だ16枚も残る都市部では貴重な水田を埋め、 切り土盛り土で里山を破壊して、水陸の希少生物のすみかを奪い、殺し、 道路の完成は「花博に間に合わせる」というこの道路計画に、私は不満です。</p> <p>もしこの道路計画が、住民のための道路計画であるというならば、コロナや新交通システム断念で当初の計画が破綻している花博を延期して、花博の時期までに完成を間に合わせるという、このお粗末な道路計画を見直して下さい。</p> <p>市素案説明会とそのあとの質問書で出た、市民からの質問や意見を取り入れた道路計画にして下さい(例えば海軍道路桜並木は歩道にして、その東側か西側に緊急車両も通れる道路を造ればよいのでは。3・3・54号はもっと北よりにして水源を破壊しないようにする、など)。</p> <p>また、この地で2022年、旧日本海軍の砲弾が二個も出土しています。市はこの事実を公表していません(2023年1月1日現在。新聞報道はされたけれど、市からの公表は無いと認識しております。もし、正式に市として公表してありましたらその点ご教示ください)。 なぜ公表しないのでしょうか。 山中市長はこの「砲弾出土を公表しない」という方針を容認していますか？ 砲弾出土を市が公表しないというのは、山中市長の方針ですか。</p> <p>土壤汚染も確認されている旧上瀬谷通信施設です。 これからの道路新設に伴い作業員などに影響はないのでしょうか。また、人体に有害と近年沖縄や横須賀で懸念が示されているフッ素化合物汚染、PFOS・PFOAに関して広く全域で調査を行って欲しいです。</p> <p>最後に、 3・4・3号環状4号線、3・3・53号上川井瀬谷1号線、3・3・54号上川井瀬谷2号線の計画書に、 「なお、緑区十日市場町地内に駅前広場を設ける。 なお、青葉区青葉台一丁目地内に駅前広場を設ける」とありますが、それは「計画図1、2」には盛り込まれていません。 駅前広場の着工はいつから開始され、どこに着工し、いつ工事完了になるのでしょうか。 このことは「市素案説明会」では公表されていなかったように思います(もし、市素案説明会で資料に書かれており、説明会で市から説明がありましたら、いつ、どこで行われたのかご教示ください)。 このような「大ごと」な都市計画に関して、市民に知らされないままに行われてしまうのかと思うと、私は横浜市行政に多大なる不安を抱きます。</p> <p>また、 本来ならばこの公述も、Webではなく実際に専門家・担当者を前にして行い、公述に対する市の意見を伺いたかったです。 市素案説明会では、西岡課長以下市の職員のかたたちから、 「公聴会をWebではなく行う判断の権限は私たちにはない」と伺いましたが、権限のある市職員も説明会に参加させるべきではないでしょうか。</p>	<p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>2 旧上瀬谷通信施設地区では、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」との意見交換や市民意見募集等を踏まえて、まちづくりの方針や土地利用の考え方を「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(2020年3月策定)」として取りまとめ、これに基づいて、まちづくりを進めています。</p> <p>同計画では、土地利用として、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンを設定し、各ゾーンで、次世代に向けた土地利用を行うことや、国際園芸博覧会のレガシーを継承した公園の整備などにより、国内外から注目される、新たな活性化拠点の形成を目指しております。</p> <p>この基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(上川井瀬谷1号線および上川井瀬谷2号線等)、幅員12~18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線(八王子街道)の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。なお、隣接市には、引き続き適宜情報提供を行ってまいります。</p> <p>また、2027年国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や今回、計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会において、検討が進められています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p> <p>3 砲弾については、近隣住民の方にご不安やご心配をおかけしないことがとても大切ですので、発見された段階で速やかに近隣住民の方へ情報提供を行ってまいります。 また、公表については、埋蔵文化財調査結果や磁気探査調査結果の状況を踏まえ、検討していきます。</p> <p>4 土壤調査については、当地区の全域を対象に土壤汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。 その結果、国有地66区画、民有地22区画の基準値超過を確認しています。このうち、民有地の2区画については、除去済みです。 深い位置で土壤汚染が確認された1か所については、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきますが、それ以外で土壤汚染が確認された箇所については、全て掘削除去を行っていく予定です。 なお、PFOS、PFOAといった有機フッ素化合物については、国が暫定目標値を示している段階にあるため、これまで調査を実施しておりませんが、国が専門家会議を設置し、対策の検討を進めているため、国が基準値や対策方法を示した段階で、その状況を踏まえ、改めて検討します。</p> <p>5 2027年に開催される国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興や花と緑にあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的として開催される、最上位(A1)の国際園芸博覧会です。 なお、令和4年11月のBIE(博覧会国際事務局)総会において、2027年国際園芸博覧会が国際条約に基づく国際博覧会として認定されました。これにより令和元年のAIPH(国際園芸家協会)の承認とあわせて、2027年に横浜市において国際園芸博覧会を開催することが正式に決定しています。</p>
--	---

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

Web でしか行わないこの公述・公聴会にも、私は不満です。

以上、貴重で広大な旧上瀬谷通信施設における、今回の道路計画には、私は、自然を守り残していくという観点からも、この計画が、SDGs に反しているということからも、2027 年国際園芸博覧会（通称花博）及びその後のテーマパーク誘致に際しての渋滞の解消に資するところがなく、私の将来の生活が不安であるという点からも、旧海軍の砲弾出土という事態を市が公表しない方針をとり、これはこの重大事に対して適切に対処していないとしか思えない点からも、土壌汚染対策が不足と思う観点からも、公述が Web でしか行われぬという点に関しても、異を唱えますし、不満・不安に思っていることをここに公述いたします。

そして、横浜市は、

1. 海軍道路桜並木を全伐採して 4 車線道路に一部だけ拡幅するという、渋滞解消にはなんら解決策にはならず見事な桜並木を破壊してしまうという愚を犯さずに、歩道化を検討してください。検討し実現に向け計画を立てると約束してください。
2. 2027 年通称花博およびその後のテーマパーク誘致の際に、道路混雑がどのようになるかに関して調査しそれを解消するような道路計画を立ててください(併せて中原街道の渋滞予想も行うと約束してください)。
3. 砲弾出土は公表するように、方針を変更してください。
4. 土壌汚染に関して、近年人体に多大な影響が及ぼされるのではと懸念が深刻化しているフッ素化合物汚染が、旧上瀬谷通信施設でどのように広がっているのか、再調査を望みます。
5. 相鉄・東急直通線開業にともなう輸送人員が下方修正されました(2022 年 12 月 31 日、神奈川新聞報道)。コロナや新交通システム断念で、当初の来場者見込みがあやしくなり、輸送計画が破綻している花博を延期して、花博の時期までに完成を間に合わせるといふ、この今回のお粗末な道路計画を見直してください。
6. 「緑区十日市場町地内に駅前広場を設ける。青葉区青葉台一丁目地内に駅前広場を設ける」と今回の資料にありますが、それは「計画図 1、2」には盛り込まれていません。この 2 カ所の駅前広場は、いつから、どこに着工し、いつ工事完了になるのでしょうか。お答えください。
7. 3・3・54 号はもっと北よりに新設し、相沢川和泉川の水源地を破壊しないようにしてください。

横浜市に対して以上の質問への回答を希望いたします。よろしく願いいたします。

なお、以上 1～7 の質問に関しては、ひとつひとつの回答を望みます。よろしく願いいたします。

道路計画については、前述の 2 番で回答したとおり、基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる 2046 年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し道路計画を策定しています。

2027 年国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の 4 つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や今回、計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会において、検討が進められています。

6

3・4・3 号環状 4 号線については、昭和 32 年 12 月に都市計画決定された路線で、計画書にはこれまで都市計画に定めた、起点の金沢区から終点の青葉区まで全線の内容を記載しています。

今回の 3・4・3 号環状 4 号線の都市計画変更は旧上瀬谷通信施設地区内の変更となるため、市素案説明会の資料や計画図において、今回変更する区間のみを示しております。

なお、両駅前広場は既に供用済です。

7

将来土地利用を踏まえ、3・3・54 号上川井瀬谷 2 号線の位置を計画しています。

和泉川については、事業区域南東部に源流部があり、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間を活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。

相沢川については、事業区域内に源流部はございませんが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。

なお、和泉川源流部には湧水がありますが、湧水への影響を低減させるため、造成後の早期緑化や透水性舗装等の採用により、雨水の地中浸透量の確保を進める予定です。

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

■公述人2

公述意見の要旨	市の考え方
<p>1. 海軍道路の桜並木について 計画では4車線の拡幅となっているが、主に西側、新たに2車線を設け、健全な木はできるだけ残し、現在の桜並木を存続させる計画に変更できると考える。 仙台市の定禅寺通りのケヤキ並木は遊歩道も設置し路線バスも通っている。是非とも海軍道路の修復は参考にして欲しい。 元々、桜並木のある区間は、新交通を牽く予定であり、地中に電線を埋め、その上に軌道を計画していたようだが、未だにこの計画を諦めていない当局の思惑、疑義が湧く。「桜並木の根柱が地下工事の邪魔になる」という見立てが本筋ではなかろうか。 2027年花博開会には間に合わない新交通の導入、開催後から24年後を想定し莫大な資金を投入する開発の条件として、全樹伐採が含まれているのであれば、それは果たしてSDG'sのポリシーと言えるのだろうか。</p> <p>2. 地権者（まちづくり協議会）と周辺住民とのニーズ及び理解度の相違について 昨年、瀬谷区と旭区で開催された説明会において、海軍道路に近い某自治会会長から「住民はテーマパークを望んでいない」といった主旨の発言を確認した。現時点ではテーマパークのテーマすら未確定のテーマパークに年間1000万人来場の見込みを立てた区画整理案を基に道路計画を立てる事は無謀ではないか。 住民の望む声の中には、日々の暮らし向きや利便性向上を求めるものと認識できた。当局が現段階で示している海軍道路4車線の拡幅だけではそれらを解消できるとは考え難い。 また兼ねてから構想されていた瀬谷地内線計画はその後進展はあるのか。 上瀬谷エリア内よりもエリアへ進入するポイントに渋滞が集中しているのは明らかである。 R246八王子街道から南下するルート、相鉄三ツ境、瀬谷両駅から北上するルートのそれぞれの入口部分の慢性的な渋滞解消は不可欠であり、その方法を示して欲しい。 また、東名高速に新たなスマートインターチェンジの計画もあるようだが、計画図を見る限り、農業振興エリアの西側から海軍道路へ進入とある。恐らく高架式にて建設を考えていると思うが、日照問題や地域住民への環境への配慮も必要である。 この点についても具体的な説明が一切なされていない。 地権者が望む開発は、市民、住民の望む開発とは必ずしも一致していないという点が説明会の質疑応答により確認できた。地権者のプライバシー保護の為に当局と地権者との話し合いを一切公表せず、税を投入します。と開発を押し進めてしまうのは、極めて乱暴な手法であり、大変遺憾である。 私は昭和60年、1986年に目黒区から青葉区へ転入した。 両親が老後を見据え「緑豊かな地で静かに暮らせる環境」を望んでいたと記憶している。 瀬谷区の皆様の中には両親と同じような価値感で、その地を選んで住まわれている人達も存在すると思われる。 その後、平成5年、あざみ野駅はブルーラインの終点地として延伸開業したが、両親の望んでいた環境は一転し約15年前に他県へ転居した。 ブルーラインの延伸計画は、沿線開発をしている東急がたまプラーザ駅への終点誘致を横浜市へ働きかけ、官民一体のまちづくりを画策するも、当時市長であった故高秀氏が固辞した経緯がある。各駅停車のあざみ野駅を終点駅にしたのは何故なのか。 街のニーズや市民の声は全く無視されてしまった開発だったと振り返る。 日常生活に最低限必要な交通インフラだが、上瀬谷エリアはそれすら未だ満たされていない。テーマパークを想定せず、現住民の生活力UPに全力を注ぐべきであると考えます。 2021年、コロナ禍の統計を参考にして欲しい。 相鉄瀬谷駅 35684人/1日あたり 東急・地下鉄あざみ野駅 103563人/1日あたり テーマパーク年間1000万人想定より、1日最大で10万人の来場を見込むようだが、果たして街が耐えられるのか。</p>	<p>1 環状4号線（海軍道路）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。 このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。 令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」を策定しました。今回、道路幅員18mから31mに拡幅する土地区画整理事業区域内(八王子街道付近～中瀬谷消防出張所)の環状4号線では、基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」において、拡幅後の歩道部に桜並木を再生することとしております。 なお、環状4号線は市域の一体化を目的とした主要な幹線道路であり、緊急輸送路としての役割がある中で、土地区画整理事業施行区域内の北側と南側の起終点が既成市街地との関係で固定されている状況を踏まえ、両地点の車道を直線で結ぶ計画で拡幅を行うこととしています。 新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>2 旧上瀬谷通信施設地区では、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」との意見交換や市民意見募集等を踏まえて、まちづくりの方針や土地利用の考え方を「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(2020年3月策定)」として取りまとめ、これに基づいて、まちづくりを進めています。 同計画では、土地利用として、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンを設定し、各ゾーンで、次世代に向けた土地利用を行うことや、国際園芸博覧会のレガシーを継承した公園の整備などにより、国内外から注目される、新たな活性化拠点の形成を目指しております。 道路計画については、この基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、将来交通量を算定しています。 この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(上川井瀬谷1号線および上川井瀬谷2号線等)、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では瀬谷地内線の整備をはじめとして、三ツ境下草柳線の整備や国道16号線(八王子街道)の拡幅整備も進めます。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。 引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交差点部分を含め、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>東名高速道路と旧上瀬谷通信施設地区を接続する新たなインターチェンジについては、旧上瀬谷通信施設地区の土地利用の推進にあわせて、横浜町田ICの混雑緩和等に向けて、今年度に具体的な検討に着手しました。 現在は、東名高速道路との接続位置やルート、周辺環境への影響など、基本的な検討を進めている状況です。 今後、詳細をお示しできる段階になりましたら、市民の皆様へお伝えしていきたいと考えています。</p> <p>街のニーズや再度住民の皆様の声聞くべきというご意見については、これまで節目ごとに市民の皆様へ情報提供するとともに説明会を開催し、その中でいただいたご意見を踏まえ、検討を進めてまいりました。今後も、市民の皆様のご意見を聞きながら事業を進めるとともに、隣接市には、引き続き適宜情報提供を行ってまいります。</p>

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

瀬谷沿線開発に何故相鉄HDが手を引いてしまったのか。その現実を当局は受け止め今一度考え直して欲しい。
道路計画は最寄駅からのアクセス向上を図る為の最も重要な事業であるので、もう一度現地に近い住民の皆様
様の声を聞いて欲しいと思う。
また、瀬谷区の皆様と同じ生活圏である、大和市、町田市、相模原市、綾瀬市の皆様への説明も不可欠である
と考える。
海軍道路と平行している瀬谷柏尾線の渋滞解消の見解も是非とも示して欲しい。
最後に上瀬谷エリアは米軍に接収されていたからこそ、不便さと引き替えに豊かな自然や生物、桜並木を存
続できたという事を忘れてはならない。
これこそ国際都市横浜のプライドを発信するべき重要なポイントであり、レガシーを継承するものであると
確信している。

以上

県道瀬谷柏尾については、先にも述べたとおり、土地区画整理事業区域内および周辺の道路整備を一体的
に行うことにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、県道瀬谷柏尾を含む周辺地域への影響も低減させ
ていきます。

旧上瀬谷通信施設地区の土地利用の具体化に向けては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の
地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら検討を進めて
いきます。

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

■公述人3

公述意見の要旨	市の考え方
<p>海軍道路の桜並木を残して下さい。 今植えられている桜達は適切に管理され、毎年きれいに咲かせています。 渋滞解消の為に桜を切って道路をつくっても、渋滞は解消されないと思います。 あるとすれば、名物である桜並木がみられない事で、車が減るかもしれない、程度ではないかと思えます。 どうしても道路工事をするのであれば、桜並木はそのままに、今の車道を歩道にかえて、桜並木の両サイドに車道をつくれればよいと思います。 長く横浜市民から愛されている桜並木を切らないで下さい。よろしくお願い致します。</p>	<p>環状4号線（海軍道路）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。 このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。 令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」を策定しました。今回、道路幅員18mから31mに拡幅する土地区画整理事業区域内(八王子街道付近～中瀬谷消防出張所)の環状4号線では、基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」において、拡幅後の歩道部に桜並木を再生することとしております。 なお、環状4号線は市域の一体化を目的とした主要な幹線道路であり、緊急輸送路としての役割がある中で、土地区画整理事業施行区域内の北側と南側の起終点が既成市街地との関係で固定されている状況を踏まえ、両地点の車道を直線で結ぶ計画で拡幅を行うこととしています。 新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p>

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

■公述人4

公述意見の要旨	市の考え方
<p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業に係る都市計画道路3・4・3号環状4号線、3・3・9号国道16号線(八王子街道)他2路線の都市計画変更に関する公述</p> <p>①道路計画について 11月に行われた説明会でも繰り返し指摘されていましたが、3・3・53号上川井瀬谷1号線とB'地区(程ヶ谷カントリー側)を通る既存の農道、また、細谷戸ハイツから一里山ゴルフセンターの脇を通り東野に抜ける道の合流点が、説明会に至っても具体的でないのは納得できません。 説明会では「影響なし」との答えでしたが、東野地区は神奈川県警により「ゾーン30地区」に指定され、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車道の中央線を消して一車線にする ・路側帯の設置や拡幅により道路幅を狭くする <p>という措置が取られています。 これによって車の走行速度を抑制することで、歩行者等の安全が確保されているはずですが、道路計画素案説明会時の解答では新たな抜け道になる可能性への配慮は無く、都市計画審議会時の解答でも抜け道になるかもしれない住宅地に交通整理の人員を置く予定は無いということでした。 この道路を南に下ると、野境道路から分かれる道と合流するため渋滞を避ける格好の抜け道となるはずで す。 本来速度制限のために工夫された「ゾーン30」地区に多くの車が流れ込んだら、歩行者の安全はどうなる のでしょうか？ また、この3・3・53号上川井瀬谷1号線の整備は瀬谷消防署中瀬谷消防出張所の交差点までで、そこ から先、中屋敷を通り瀬谷柏尾線に通じる道路が、これまで通りの細い道のまま拡幅されないのには何か理 由があるのでしょうか？ この地点は以前から双方向から車が行き来するため常に渋滞が起きている、という指摘があった所です。 にも関わらず拡幅されるのは東側のみで西側は道幅は変わらず、これでは今の渋滞が解消されないどころか 拡幅部分に流れて来た車で渋滞に拍車がかかってしまうのではないのでしょうか？ 東名高速に新しく出来るというインターチェンジの計画に関連して、拡張される予定があるのですか？</p> <p>瀬谷区上瀬谷町・中屋敷・竹村町・本郷また境川を挟んだ大和市深見には、</p> <p>中屋敷保育園・瀬谷愛児園・横浜二ツ橋保育園の3つの保育園、</p> <p>あづまの幼稚園・相沢幼稚園の2つの幼稚園、</p> <p>上瀬谷小・大門小・瀬谷小・二つ橋小・相沢小・大和東小の6つの小学校、</p> <p>東野中・瀬谷中の2つの中学校、</p> <p>瀬谷高校・大和東高校の2つの高校、</p> <p>三ツ境養護・三ツ境養護瀬谷西分室・瀬谷養護・二ツ橋高等特別支援学校の4つの養護学校特別支援学校、</p> <p>デイサービスらんど・ハートリンク瀬谷・デイサービスセンター陽と花・ファミリーイン瀬谷デイサービス センター・ブルーミングケア横浜瀬谷の5つのデイサービス、</p> <p>上瀬谷公園・瀬谷中央公園・瀬谷本郷公園・本郷三丁目公園・瀬谷駅北口公園・瀬谷みはらし公園の6つの 公園、 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・横浜甞生病院・瀬谷区休日急患診療所・大和市立病院の4つの救急 病院があります。</p>	<p>① 令和4年11月18日から12月19日まで開催した市素案説明会は、環状4号線、上川井瀬谷1号線、上 川井瀬谷2号線、国道16号線の4つの道路について、都市計画で定める道路の位置、延長、幅員等の道路 計画の概要等をお示しするために行いました。 「ゾーン30」とは、住宅地域等をゾーンとして区域設定し、その区域の抜け道利用や自動車の走行速度 を抑制することで、歩行者等の安全を確保するものです。上川井瀬谷1号線に接続する道路および瀬谷地 内線については、中央線が引かれており、「ゾーン30」に指定されていませんが、御指摘のとおり、その東 西に広がる住宅地域(東野地区)は、区域設定されています。「ゾーン30」地区に多くの車が流れ込んだ ら、歩行者の安全はどうなるのでしょうか？とのご懸念については、土地利用転換に伴う将来交通量への 対応として、環状4号線及び国道16号線の拡幅整備や、地区内に上川井瀬谷1号線及び上川井瀬谷2号線 の道路を新設するとともに、旧上瀬谷通信施設地区外においても三ツ境下草柳線や瀬谷地内線の都市計画 道路を整備し、車の流れを都市計画道路に誘導することで、交通の分散を図り、渋滞対策、安全対策に取 り組んでまいります。 また、今回都市計画手続を進める上川井瀬谷1号線は、起点を国道16号線、終点を環状4号線として計 画しており、瀬谷消防署中瀬谷消防出張所の北側の交差点は、事業に合わせて十字路にして交通の円滑化 を図るとともに、中屋敷を通り県道瀬谷柏尾に通じる道路については、土地区画整理事業区域内は、両側 に歩道を設ける予定です。なお、新たなインターチェンジの計画との関連はございません。 都市計画に定めない区域内道路や既存道路との接続については、今後、道路管理者や交通管理者と協議 しながら決定していきます。</p> <p>② 砲弾については、今後も埋蔵文化財調査や工事の実施にあたり、今回、砲弾が発見された経過も踏ま え、磁気探査調査の実施など、安全性を確保しながら進めていきます。 また、公表については、埋蔵文化財調査結果や磁気探査調査結果の状況を踏まえ、検討していきます。 毒ガス弾については、環境省において平成17年に開催された「国内における毒ガス弾等に関する総合調 査検討会」で、「現時点では対応を行う必要性は認められない」とされています。また、「何らかの新たな 情報が判明しない限りは、特段の対応は不要」とされています。</p> <p>③ 旧上瀬谷通信施設地区では、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」との意見交換や 市民意見募集等を踏まえて、まちづくりの方針や土地利用の考え方を「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計 画(2020年3月策定)」として取りまとめ、これに基づいて、まちづくりを進めています。 同計画では、土地利用として、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーン を設定し、各ゾーンで、次世代に向けた土地利用を行うことや、国際園芸博覧会のレガシーを継承した公 園の整備などにより、国内外から注目される、新たな活性化拠点の形成を目指しております。 事業を進めるにあたっては、節目ごとに市民の皆様へ情報を提供し、皆様の意見を聞きながら手続を進 めてきました。 今回の「旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業に係る都市計画道路3・4・3号環状4号線、3・ 3・9号国道16号線(八王子街道)他2路線の都市計画変更に関する都市計画市素案説明会」について は、令和4年11月18日から12月19日まで、市のホームページで動画配信による説明会を行うととも に、現地における説明会を同じ内容で平日2回、休日2回の計4回開催いたしました。休日の日中に開 催することについては、今後、説明会を開催することにあたってのご意見として承ります。 また、説明会の資料については、建築局都市計画課のホームページにおいて、「都市計画市素案スライ ド」と「都市計画市素案スライド読み原稿」を掲載しており、お問合せいただいた方には、個別に対応を させていただきました。 なお、説明会の周知については、広報よこはま11月号(旭、瀬谷)への掲載と、周辺住民へのポスティ ング(約8,500世帯)、併せてホームページ掲載等により周知を行いました。</p>

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

旧上瀬谷通信施設の周りだけをぐるっと整備したところで、この付近は元々渋滞の巣、入る車も出る車も渋滞を避けるため、周辺の住宅地に流れ込むでしょう。上瀬谷と周辺区域の住民の日常生活が、この杜撰な道路計画で守れるはずがありません。もっと広い視点での渋滞回避の方法を考えるべきです。

②道路予定地近くで見つかった旧日本海軍の砲弾について

過去の新聞記事を調べると、1989年4月2日と2012年7月20日に上瀬谷で旧日本海軍の砲弾が見つかった記録があります。いずれも長さ43cm・直径12.5cmで今回見つかった砲弾と同型の物と思われます。

横浜・瀬谷地図くらぶの『地図で辿る瀬谷の移り変わり』（2004.7発行）によると、米軍に接收される以前の上瀬谷には旧日本海軍瀬谷補給工場と倉庫(弾薬庫)が存在した、とあります。2027年国際園芸博覧会が行われる予定の公園防災ゾーン、その後テーマパークが誘致される予定の観光にぎわいゾーンは特に「瀬谷火薬庫地区」とされ、30kg・60kg・250kg・800kgの実弾がそれぞれ誘爆を防止するため、周囲を盛土した遠隔分散式爆薬庫に保存されていたことが当時の資料と地形図により見て取れます。

また環境省の「『昭和48年の「旧軍毒ガス弾等に関する全国調査」のフォローアップ調査報告書』の更新版作成に係る基本的な考え方」によると、上瀬谷にあった第2海軍航空廠瀬谷工場には、毒ガス史上一番多くの生命を奪ったことから「化学兵器の王様」とも呼ばれたイペリット弾が保有されていた、という記述があります。にも関わらず、終戦後その廃棄に関する情報は記されていないとされています。

令和4年12月20日の横浜市建築・都市整備・道路委員会で上瀬谷整備推進課は、「地歴調査で旧日本軍の施設があった所と掘削する場所は磁気調査する」と解答しています。然しながら、2012年7月20日には旧上瀬谷通信施設地区外の上瀬谷区相沢3丁目の宅地造成地で火薬と起爆装置のついた砲弾が見つっています。旧日本海軍施設以外の場所で爆発の危険がある砲弾が見つかった例がある以上、旧軍施設と掘削予定地だけでは調査は不十分です。

毒ガス弾についても、道路計画素案説明会では「環境省が調査不要としている」との答えでしたが、第二次世界大戦当時でも国際法違反だった毒ガス弾を秘密裏に保有していたのですから、念には念を入れた全域調査が必要なのではないのでしょうか？

また、BIE認定された国際園芸博覧会会場の安全に関わる情報なのですから、調査の過程と結果を常にメディアに発表するのが、土地区画整理事業、道路整備事業をする横浜市の義務だと思います。

③上瀬谷整備推進課による説明会について

お仕事で再開発をする公務員の方々の目には、旧上瀬谷通信施設は周りの街並みからぼっかり浮かび上がった242haの広大な空き地に見えるのかもしれませんが。けれども、上瀬谷と周辺地区の住民にとっては、生活に直接繋がった土地、地権者以外の市民にも良い意味でも悪い意味でも思い入れや期待そして不安のある土地です。

説明会に足を運ぶのはそんな思いを持った市民ばかりなのに、毎回行われるのは、

- ・周知不足
- ・お役所用語満載の聞く人に理解させる目的とはとても思えない早口での原稿読み上げ
- ・わかりにくいスライド

の説明と、

- ・テンプレ解答の棒読み

今後も、説明会等を実施する際には、分かり易い資料を作成するよう努め、市民の皆様へ丁寧に説明しながら、事業を進めていきます。

環境については、「旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 環境影響評価書」に基づき、工事の実施や工事後の土地の改変による生息環境への影響を低減させるため、環境保全措置を実施していきます。旧上瀬谷通信施設地区の土地利用の具体化に向けては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら検討を進めていきます。

交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。

具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（上川井瀬谷1号線および上川井瀬谷2号線等）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。

引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。

公聴会は、都市計画法第16条第1項に基づき開催するものであり、市が作成した都市計画の素案について住民が公開の下で意見陳述を行う場と考えられています。

そのため、公聴会は専門家・担当者を前にして行い、公述に対して市の意見を述べる場ではございませんが、いただいたご意見については、「公聴会における公述意見の要旨と市の考え方」を、学識経験のある者、横浜市議員、横浜市の住民などで構成される都市計画審議会に提出いたします。

今回の公聴会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための措置として、横浜市ホームページでの書面による意見の公開により、行うこととしております。

なお、公聴会の実施方法については、今後も引き続き社会動向等を踏まえ、適切な手法を随時検討し、実施してまいります。

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

・内容を理解できる説明をしていないのに更問いしようとすると恫喝紛いに上から叱り飛ばすというとんでもない質疑応答ばかり。

今まで何回も説明会に参加しましたが、今回の道路計画素案説明会でも、渋滞回避方法や既存道路との接続、新しく道路を整備する為に旧上瀬谷通信施設内の地形を変更予定はあるか？などの質問には、「決まっていない」「これからしっかり整備する」などの逃げと決意表明があったのみ。10月に発見された一つ目の旧日本海軍の砲弾についても、細谷戸ハイツ住民の方が質疑応答で話題に出さなければ、なあなあで済ませていたであろう、いい加減な対応しか伝わって来ませんでした。これで「説明会」とはあまりにお粗末です。

横浜市にとって、地権者以外の市民は敵ですか？慣れ親しんだ土地や通勤通学に使っている道路が再開発でどのように変わるか、不安に思うのはいけない事ですか？「市民の意見は地権者が組織するまちづくり協議会と充分話し合った(からもう充分)」と言われ、「ではまちづくり協議会と市の話し合いの記録を見せてください」と質問すると、「条例で決められているから公開しない」と言われて納得できると思いますか？市民に伝わるかどうかはともかく、型通りの説明会を行えば「法に則った適切な計画」を進めていけると思っておられるのでしょうか？

渋滞回避のために旧上瀬谷通信施設地内に道路を新設し、大きな駐車場を造れば、当然その分環境は破壊されます。

今現在渋滞している地域に新たに渋滞の可能性を放り込むのです、小細工では回避出来ません、決意表明で突っ込んで、大渋滞が起こったら「そんなはずじゃなかった」で済みます気ですか？ズーラシア渋滞を見てください、出来て何年経っていますか？開発がもたらす物が発展だけでない事をきちんと知らせてください。

旧日本海軍施設だった地歴を調べた、と仰いますが、実際に砲弾が発見された新聞記事くらい確認してください。危険に晒されるのは住民と工事関係者だけでなく、2027年国際園芸博覧会 1000万人テーマパーク 1500万人のゲストです、生半可な調査で本当に良いと思いますか？

説明会をするのなら、休日の昼にたっぷり時間をとって、誰にでもわかりやすい言葉と資料・スライドで、原稿を読みあげるのではなく、質疑応答にも、親身に答えるものにしてください。上瀬谷整備推進課には、それができるだけの人材が居ないのですか？あの酷いIR誘致説明会の反省が全くないのには本当に唾然とさせられます。横浜市職員は、国や県や、特定の政党・企業・地権者の為でなく、全ての市民のために働く義務があるはずです。

最後に、山下埠頭の再開発意見交換会が64名×5回リアルで開催されるにも関わらず、今回の公聴会がZoom会議ですらなくホームページ上に掲載のみという形になった事は、上瀬谷整備推進課がいかにかこの計画に市民が関わって欲しくないと思っているか、という姿勢の現れです。この姿勢にも厳重に抗議いたします。

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

■公述人5

公述意見の要旨	市の考え方
<p>毎年見事な桜を咲かせる海軍道路の桜並木を伐採して、国際園芸博覧会なんて本末転倒です。</p> <p>海軍道路の名の通り昔は日本海軍の弾薬庫があったからですよ？上瀬谷からは砲弾が出たと聞きました。まだいくつも埋まっているのではないのでしょうか？</p> <p>また、ついこないだまで米軍に接収されていました。米軍は横須賀や厚木にも例があるとおり人体に悪影響ある化学物質を廃棄したままです。そういう調査も国と横浜市の責任で行っているのでしょうか？</p>	<p>環状4号線（海軍道路）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」を策定しました。今回、道路幅員18mから31mに拡幅する土地区画整理事業区域内(八王子街道付近～中瀬谷消防出張所)の環状4号線では、基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」において、拡幅後の歩道部に桜並木を再生することとしております。</p> <p>なお、環状4号線は市域の一体化を目的とした主要な幹線道路であり、緊急輸送路としての役割がある中で、土地区画整理事業施行区域内の北側と南側の起終点が既成市街地との関係で固定されている状況を踏まえ、両地点の車道を直線で結ぶ計画で拡幅を行うこととしています。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>砲弾については、今後も埋蔵文化財調査や工事の実施にあたり、今回、砲弾が発見された経過も踏まえ、磁気探査調査の実施など、安全性を確保しながら進めていきます。</p> <p>土壌調査については、当地区の全域を対象に土壌汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。</p> <p>その結果、国有地66区画、民有地22区画の基準値超過を確認しています。このうち、民有地の2区画については、除去済みです。</p> <p>深い位置で土壌汚染が確認された1か所については、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきますが、それ以外で土壌汚染が確認された箇所については、全て掘削除去を行っていく予定です。</p>